

別紙様式第3号（第8条第1項関係）

施設園芸等燃油価格高騰対策実施状況報告書（平成 事業年度）

番 号
年 月 日

広島県農業再生協議会会長 様

(農業者組織)

住所	氏名	印
名称及び代表者の		

施設園芸等燃油価格高騰対策業務方法書（平成〇〇年〇〇月〇〇日付け広島県農業再生協議会作成）第8条第1項の規定により別添のとおり報告する。

【平成 29 事業年度報告用】（本様式は、平成 29 事業年度の実施状況報告に使用し、平成 28 事業年度の実施状況報告については、従前の様式を使用すること。）

（別添）

施設園芸等燃油価格高騰対策実施状況報告書（平成 事業年度）

策定主体名：

第 1 施設園芸セーフティネット構築事業実施状況

対象期間	月 ～ 翌 月
○事業年度	年 月～ 月

（セーフティネット加入構成員の内訳）

番号	氏名	燃油購入設定数量 (リットル)	燃油補填金 積立額(円)※	○年度補填金支払額(円)		備考
					うち補助金	
合 計						

（注）※は、「燃油購入予定数量(リットル)×積立単価(円/リットル)×1/2」で算出（農家積立分）。

（注）件数が多い場合等は、本表を別葉とする。

（注）番号は、事業実施計画と同じ番号を用いること。

第 2 省エネルギーに関する目標の達成状況（毎年度報告）

1 省エネルギー推進計画に取り組んだ事業年度：平成○事業年度（目標年度：○
○事業年度）

（10a 当たり燃油使用量を削減する目標）

燃油の種類	年間（加温期間）使用量		削減量 ③＝①－②	削減率 ④＝③／①×100
	現在 ①	目標 ②		
A重油または灯油 (灯油の場合はA重油に換算)	KL	KL	KL	%
10a 当たり	KL	KL	KL	

（注）省エネルギー等対策推進計画第1の2の(1)10a 当たり燃油使用量を削減する目標から転記する。

（単位生産量当たり燃油使用量を削減する目標）

燃油の種類	年間（加温期間）使用量		削減量 ③＝①－②	削減率 ④＝③／①×100
	現在 ①	目標 ②		
生産量 (品目名：)	t	t		%
1t当たりの 燃油使用量	KL	KL	KL	

(注) 省エネルギー等対策推進計画第1の2の(2)単位生産量当たり燃油使用量を削減する目標から転記する。

(注) 重量での把握が困難な場合は、単位を数量に変更して記載してもよいものとする。

(民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃油コストの変動を抑制する目標)

燃油の種類	年間(加温期間) 使用量:現在①	年間(加温期間) 抑制量:目標②	抑制率 ③＝②／①×100
1t当たりの 燃油使用量	KL	KL	%

(注) 省エネルギー等対策推進計画第1の2の(3)民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃油コストの変動を抑制する目標から転記する。

(2) 達成状況

(10a 当たり燃油使用量を削減)

燃油の種類	年間（加温期間） 使用量実績 ⑤	削減率 ⑥＝(①－⑤)／①×100
A重油または灯油 (灯油の場合はA重油に換算)	KL	%
10a 当たり	KL	%

(注)「年間(加温期間)使用量実績」欄は、省エネルギー等対策推進計画に取り組んだ年度における使用量実績(小数点以下第1位を四捨五入)を記載する。

(単位生産量当たり燃油使用量を削減)

燃油の種類	年間（加温期間） 生産量実績 ⑤	削減率 ⑥＝(①－⑤)／①×100
生産量 (品目名：)	t	
1t当たりの 燃油使用量	KL	%

(注)「年間(加温期間)生産量実績」欄は、省エネルギー等対策推進計画に取り組んだ年度における生産量実績(小数点以下第1位を四捨五入)を記載する。

(注) 重量での把握が困難な場合は、単位を数量に変更して記載してもよいものとする。

(注) 支援対象者内で複数の品目を生産している場合は、作付け戸数上位3品目(又は作付け戸数で全

体の7割に達するまでの品目)について、枠を追加して記載。

(民間の金融商品や備蓄タンク等を活用して燃油コストの変動を抑制)

燃油の種類	年間(加温期間) 抑制量実績 ⑤	削減率 ⑥=(①-⑤)/①×100
A重油または灯油 (灯油の場合はA重油に換算)	KL	%

(注)「年間(加温期間)抑制量実績」欄は、省エネルギー等対策推進計画に取り組んだ年度における抑制実績(小数点以下第1位を四捨五入)を記載する。

2 目標未達成の場合、達成に向けた取組の方向性

第3 添付資料

平成27事業年度に施設園芸省エネ設備リース導入支援事業を実施した場合は、従前の例により、それぞれのリース事業実施主体のリース事業状況報告を添付する。